

「知っておきたい災害時の知識」

4月19日(水)佐賀県防災士会 小林紀さんを講師に迎え、スキルアップセミナー「知っておきたい災害時の知識」を開催しました。21名の参加でした。



まず、昨年の熊本地震の時に、現地に入られた時の状況を話されました。避難所で一番困るのはトイレだそうです。多くの方が使用する仮設のトイレは、紙を流さない工夫で、ビニール袋を置いてあったそうです。ほとんどが和式トイレなので、自分でも災害時のトイレを準備しておく事を勧められました。ダンボール、大きめのゴミ袋、新聞紙又はペットのトイレシートや大人用のオムツシートがあれば、簡易トイレを作る事もできそうです。

※災害用トイレ(ダンボール製)は、カタログ“ぱれっと”での注文、又は小城市の「長光園小城生活介護センター」で購入できます。



次に備蓄品と持ち出し品についてお話されました。家庭での備蓄品と持ち出し品は別物です。持ち出し品は自分流のものを作りましょう。自分に必ず必要な物を考えて準備するのがコツです。特に、薬を飲んでいる方はいつもカバンの中に入れておきましょう。

★小林さんの持ち出し品の内容

水(500ml)、タオル、ビスケット(缶詰)、簡易トイレ、ライト(置き型で電池も一緒に)、アルミのポンチョ、体ふきシート、ドライシャンプー、歯磨きガム、ラジオ、新聞紙、ビニール袋、使い捨てショーツ、ホイッスル(玉のないもの)、携帯電話充電器など
※100円ショップで揃うものも多い



★備蓄品

水、保存のできる食品(缶詰・カップ麺・レトルトカレー・ドライスープ・パックご飯・乾麺・など)
野菜ジュース(長期保存用のもの)紙コップや紙皿、ラップやアルミホイル、
簡易トイレ、除菌スプレーや除菌ウェットティッシュ、
※卓上カセットコンロは電気やガスが断られた時に使えるので、準備しておく
お鍋でご飯を炊く練習をしておく



セミナー終了後に、火を使わないで食べられるcoop商品の試食がありました。メニューは、ツナフレークとスイートコーンドライパック、バターが薫るふんわりクロワッサン、野菜がおいしい一日分ジュースでした。



【参加者の声】

- ・全く防災意識がとぼしいので、今回のセミナーで私自身少し意識改革できました。今日から少しずつ準備します。持ち出し袋、自分なりに作りたいと思います。(40代 女性)
- ・高いセットになった持ち出し袋を買わなくても、身近な物をそろえれば良いということがわかり、早速実践したいと思います。(高いものは手が出なかった)私も家にいないことが多いので、車の中にも1セット入れておこうと思います。(50代 女性)
- ・日本各地で次々と災害が起こる中、非常に良いタイミングでこのセミナーを開いていただけてありがとうございます。講師のせんせいのお話もとても分かり易く、これからの生活に役に立たせていただくと思いました。試食も興味深かったです。これも役に立ちそう…。(60代以上 女性)